

令和4年度 第3回今治市ふるさと共創・共生ビジョン懇談会 会議録

- 1 日 時 令和4年11月17日(木) 午前10時30分～午前11時30分
- 2 会 場 今治市役所 第2別館11階 特別会議室3・4号
- 3 議 事 (1) 第2期今治市まち・ひと・しごと創生総合戦略の所要の改訂について
(2) 第4次今治市定住自立圏共生ビジョンの所要の改訂について
- 4 出席者 <座長>
正岡企画防災政策局長

<専門委員>

瀬野 哲郎	渡部 輔	村上 直樹	二宮 隆
吉武美由紀	川田 卓哉	宇佐美浩子	相原 正樹

<構成員>

健康推進課	村上 能朗	福祉政策課	村上 留実
産業振興課	月原 康博	観光課	越智 香織
地域振興課	鳥生 宏	農林水産課	渡部 誠也
市民参画課	片上 幸子	防災危機管理課	伊藤 政英
未来デジタル課	佐伯 栄一		

<オブザーバー>

伊予銀行 今治支店
日本政策金融公庫 新居浜支店

<PT構成員及び事業担当者>

総務管財課	青野 竜也	こども未来課	青野 光尚
道路課	細見 博也	下水道業務課	西原 孝
消防本部総務課	新田 康雄	教育大綱推進課	渡部さおり

<事務局>

市民が真ん中課 馬越課長、中田課長補佐、川崎係長、
月原主査、藤井主事

日時 令和4年11月17日(木) 10:30~11:30
 場所 今治市役所11階 特別会議室3号・4号

事務局	<p>ただ今より令和4年度第3回「今治市ふるさと共創・共生ビジョン懇談会」を開催いたします。</p> <p>事務局を務めさせていただきます市民が真ん中課の馬越でございます。よろしくお願いいたします。</p> <p>それではまず、開会に当たりまして、正岡企画防災政策局長からご挨拶申し上げます。</p>
座長	<p>皆様、おはようございます。座長を務めさせていただきます、企画防災政策局長の正岡でございます。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>本日はお忙しい中お集まりをいただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>さて、「今治市まち・ひと・しごと創生総合戦略」及び「今治市定住自立圏共生ビジョン」につきましては、地方創生の各種取組や人口減少の抑制をさらに進めるため、事業の追加や最新のデータの掲載など、毎年度所要の改訂を行うこととしてございます。</p> <p>総合戦略につきましては、国や県の動向や社会情勢の変化、前回改訂以降の市政等の動向を反映させるためのものとなっております。</p> <p>共生ビジョンにつきましては、統計データや各種事業費の更新など、国の要綱に基づいて年次の見直しを実施するものでございます。</p> <p>本日はこの2件を議事とさせていただいております。委員の皆様方のご意見やご了解をいただければと考えてございますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>なお、定住自立圏構想の推進及び総合戦略に基づく取組を、より市民の皆さまに開かれた形で進めていくため、本ビジョン懇談会は公開会議とさせていただいております。また会議録におきましても、市の公式ホームページにて公開させていただきますので、ご理解賜りますようお願い申し上げます。</p> <p>なお、会の途中で傍聴される方が入室する場合もございまして、ご了承いただきたいと思っております。</p> <p>それでは、本日はどうぞよろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>それでは、まずはじめに資料の確認をさせていただきます。</p> <p>iPadの方は、今回使用する資料は、画面の「令和4年度第3回</p>

	<p>今治市ふるさと共創・共生ビジョン懇談会」フォルダの中をご覧ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料1 「第2期今治市まち・ひと・しごと創生総合戦略」改訂案 ・資料2 「第2期今治市まち・ひと・しごと創生総合戦略」体系図 ・資料3 「第4次今治市定住自立圏共生ビジョン」改訂案 ・参考資料1 デジタル田園都市国家構想基本方針の全体像 ・参考資料2 デジタル田園都市国家構想総合戦略（仮称）の策定方針等について <p>でございます。皆さんよろしいでしょうか。</p> <p>では、ここからの進行を座長にお願いしたいと思います。</p>
座長	<p>会次第にございますように、本日の議事案件は2件でございます。</p> <p>それでは、議事1「第2期今治市まち・ひと・しごと創生総合戦略の所要の改訂」につきまして、事務局から協議の進め方をご説明いたします。</p>
事務局	<p>協議の進め方についてご説明いたします。</p> <p>議事1の総合戦略の所要の改訂につきましては、資料1「第2期今治市まち・ひと・しごと創生総合戦略改訂案」に基づいてご協議いただきます。</p> <p>今回の改訂に伴い、削除箇所はグレーで塗りつぶし、赤字見え消しに、追加は赤字での記載としております。</p> <p>内容の変更や追加につきまして、主なものを事務局からご説明差し上げました後に、委員の皆様からのご意見やご了解をいただければと思います。</p> <p>以上が協議の進め方でございます。よろしくご説明いたします。</p>
座長	<p>ありがとうございました。議事1の進行について、なにかご質問等ございませんでしょうか。</p> <p>（質問等なし）</p> <p>そうしましたら、先ほどの事務局からの説明のような流れで進行させていただきます。</p> <p>それでは、議事1「第2期今治市まち・ひと・しごと創生総合戦略の所要の改訂」につきまして、資料1の総合戦略改訂案をご覧ください。</p> <p>事務局よりご説明いたします。</p>
事務局	<p>総合戦略改訂案につきまして、ご説明させていただきます。</p> <p>令和3年度に、徳永市長のマニフェストの重要施策の推進を明確に打ち出すための内容の追加、そして国や県の動向やウィズコロ</p>

ナ・アフターコロナ時代への対応などを行うとともに、その取組を進めてまいりました。

今回は、主に昨年の改訂以降の市政等の動向を反映させるためのものとなっております。

それでは、具体的施策に新たに追加した項目や修正箇所について、主なものをご説明させていただきます。

「ひと（子育て・教育）」の28ページをご覧ください。

一般・特定不妊治療への助成です。

今まで保険適応外で実施していた特定不妊治療・一般不妊治療が令和4年度保険対象、保険適用となり、保険適用の自己負担分となった金額を助成するものです。それに伴い、一般不妊治療も助成対象としました。

令和3年度までは、県の特定不妊治療費助成事業と、今治市の特定不妊治療費助成事業がありましたが、令和4年度より県は廃止し、経過措置のみとなっております。市は、経過措置に対する分を助成しています。

36ページをご覧ください。

基本目標2「未来を担う子どもたちをみんなで育むふるさとを創る」の「(ウ) 未来を創る、生きる力を育む教育」、「③充実した教育環境の整備」のKPIの、大型提示装置の整備についての目標数値の上方修正です。

大型提示装置の普通教室への配備が完了し、目標値が100%を達成したことから、普通教室に加えて、特別支援教室・理科室・音楽室への配備および古くなっている電子黒板機能付きプロジェクタのリプレースを行い、2025年度に550台の整備を目標とし、大型提示装置の更なる設置に努めていくこととしています。

61ページをご覧ください。

イマバリスト事業です。

今治を愛し今治の魅力を発信し又は魅力を創造する人をイマバリストと称し、市内外にi.i.imabari!キャンペーンを通じた今治ファンを増やす取組を通じて、今治の魅力についてあらゆる時、場所、シーン媒体において、本市のPRの機会を創出する。同時に、ファンのデータベース管理運用を行うことで、ふるさと納税や移住・定住促進、都心等でのコミュニティ創出等につなげます。

次に、「まちの活性化」、66ページをご覧ください。

コンパクトなまちづくりの推進です。

これからのまちづくりは、人口の急激な減少と高齢化の中、コンパクトなまちづくりとこれと連携した公共交通のネットワークを形成することが重要であります。そうした中、行政と民間事業者が一体となったコンパクトなまちづくりを促進するため立地適正化計画制度が創設されました。国では、第5次社会資本重点計画において、立地適正化計画について令和6年度末に600都市で作成することを目標としており、現在400以上の都市が計画を策定しております。

居住や都市の生活を支える機能（施設）の誘導によるコンパクトなまちづくりと地域公共交通の連携によるコンパクトプラスネットワークのまちづくりを推進するため、令和5年度から立地適正化計画の策定に着手し、令和6年度末策定に向け取り組んでまいります。

68ページをご覧ください。

地域の課題解決・自立・活性化への取組支援です。

令和4年度に新設されたしまなみ振興局及び地域振興局では、支所地域の振興及び活性化に資する新規事業及び特産品創出に要する経費に対して、ふるさと納税制度を組み入れた寄付型クラウドファンディングを活用することにより、集まった寄付金を補助金として交付を行っています。

令和4年度には、(株)森のともだち農園の「キッチンカーを活用したふるさとの小さな拠点づくり事業」、地域おこし協力隊兵頭未来洋さんの「大島介護タクシー・困りごとお手伝いサービス事業」などを事業認定しました。

最後に、今後の総合戦略の改訂予定でございます。

参考資料2をご覧ください。

国は、2024年度までの地方創生の基本的方向を定めたまち・ひと・しごと創生総合戦略を抜本的に改訂し、デジタル田園都市国家構想の中長期的な基本的方向を提示するデジタル田園都市国家構想総合戦略(仮称)を、12月に策定予定です。

この大きな柱は、デジタルの力を活用して、地方の社会課題の解決・魅力向上の取組を加速化・深化させるものとなっております。

この改訂された国の総合戦略に基づき、コロナ禍やデジタル技術の浸透・進展など時宜を踏まえて、目指すべき地域像を再構築し、地方版総合戦略を改訂するよう努め、具体的な地方活性化の取組を推進するよう求められております。

	<p>これを受け、今治市においては、国のまち・ひと・しごと創生総合戦略の改訂内容を踏まえながら、総合戦略を改訂することとしております。改訂の方向性や方法等については、この懇談会においてご協議申し上げる予定ですので、よろしくお願ひいたします。</p> <p>総合戦略の改訂案についての説明は、以上でございます。</p>
座長	<p>ここまでの説明に関しまして、ご意見、ご質問等ございましたらお願ひいたします。</p> <p>なにかございませんでしょうか。</p>
A委員	<p>イマバリストっていうのは面白いなと思いました。</p> <p>先日、菊池亮太さんっていうピアニストの方がイベントで来られて、県外のファンの方も皆さんいらっしゃってたんですけど、皆さんファンの中で菊リストって言って、連帯感がすごいんですよね。ネット上でも、菊リストの皆さんで結構やりとりがあったりしてすごく広がりがあるって、それは個人に対してではあるんですけども、今治に対してそのイマバリストっていう言葉を使うことで、何かこう連帯感のようなものが広がっていくとすごくいいなと思いました。</p> <p>どうアピールしていくかっていうところが、また、今後のことになるのかなと思いました。すいません感想でした。</p>
座長	<p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>こういった取組も含めながら、ぜひ地方創生の推進に寄与していきたいと考えておりますが、本日は担当課の i. i. imabari!推進課が出席しておりませんので、すみません。担当課の方が来ていたらもっと具体的にこんなことをやっているということが説明できるのですけれども。</p> <p>非常に貴重なご意見をありがとうございました。</p> <p>他に何でもかまいません、何かご意見あればお願ひいたします。</p>
B委員	<p>一つお伺いしたいんですが、子どもが真ん中のまちづくりっていうところでの切れ目のない支援のための拠点整備というふうに掲げているんですが、切れ目のない支援っていうのは、具体的に言うとどういう支援を考えてらっしゃるのかちょっとお聞きしたいんですが。</p>
座長	<p>切れ目のない支援というのは、ネウボラと言っていますけれども、今までは妊娠から就学前までということだったんですけども、市長がネウボラ政策というのを打ち出しまして、妊娠された方から18歳までを対象にして、切れ目のない支援をしよう。未就学から小学校に上がる段階であるとか小学校から中学校に上がる</p>

	<p>段階、中学校から高校に上がる、こういったところを、切れ目なく支援をしていこうというような施策を、今までは子育て部局で取り組んでいたことを教育委員会部局、あるいは将来的には高校に進学しますのでそういったところも含めて、18歳までを総合的に切れ目なく、手厚く伴走型で支援をしていくということで、今後力を入れてやっていきたい施策の一つでございます。</p>
<p>B委員</p>	<p>もう一つお聞きしてよろしいでしょうか。</p> <p>その切れ目のない支援のために、支援の対象の年齢が広がったというお話だったと思うんですが、ネウボラ、フィンランドのネウボラっていうのは、妊娠から子どもがある程度大きくなるまで同じ相談員の方が関わって、だから情報をずっとその相談員の方が、わかっているので虐待防止に繋がったり、そういうメリットがあるというふうに言われていると思うんです。</p> <p>ですから今現在今治の妊娠からそれからある程度子育て、定期健診とかそういうものも含めて、母親が悩みを持ったときに相談する窓口っていうのは対応に当たるのはおそらく保健師の方だと思うんですが、保健師が何名ぐらいいらっしゃるのかちょっと教えていただけないでしょうか。</p>
<p>座長</p>	<p>人数的には、今治市全体で40名から50名ぐらいはいるんです。そして本庁の方で中央公民館の保健センターのところと、それから新しくできたネウボラ政策課と、各支所にそれぞれ数名ずつ配置していますので50名弱(48名)、正確な数字が今ちょっと言えないんですがそれぐらいおります。先ほど委員さんのご質問でフィンランドの例を出されてまさにそのとおりなんですけども、今治市の場合にはこの4月1日からネウボラ政策課という課ができて、そこで先ほど言った虐待の話であるとか、いろんな話を受ける課ですけども、そこに子ども家庭総合支援拠点を整備いたしまして、ヤングケアラー相談員、保健師、保育士といった相談の専門員の方を5、6人配置しております。まさにその切れ目のない支援のために、新たに始まったところですから、一元的にそこでいろんな相談を受け付けて情報を共有して、しっかりとサポートしていく体制が整ったところでございますので、そういった意味で保健師もしっかり対応をしていくような形としております。</p>
<p>B委員</p>	<p>そのお話を伺って安心いたしました。これからもよろしくお願ひしたいと思います。</p>
<p>座長</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>他、ご意見ございませんでしょうか。何でもかまいません。</p>

	<p>この議題、次によってもよろしいでしょうか。</p> <p>ありがとうございました。それでは様々な意見をいただいたのですが、しっかりと今後進めて、現在のこの事務局の提案のあった現在の案で進めて参りたいと思いますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、今後の予定といたしましては、12月をめどに改訂版を策定、そして公表予定としております。</p> <p>議事1の総合戦略の改定につきましては、以上とさせていただきます。</p> <p>それでは、次の議事に移らせていただきます。</p> <p>会次第にございますとおり、議事の2、第4次今治市定住自立圏共生ビジョンの所要の改定につきまして、事務局から協議の進め方をご説明いたします。</p>
事務局	<p>それでは、ご説明いたします。議事2の共生ビジョンの所要の改訂につきましては、資料2の共生ビジョン改訂案に基づいてご協議いただきますが、計画期間中の事業費を最新の数字に更新するものが中心であり、変更箇所が多数ありますので、新規追加項目等を中心にいくつかピックアップして事務局からご説明したうえで、委員さんのご意見やご了解をいただければと思います。</p> <p>こちらの資料につきましても、総合戦略と同様、削除箇所はグレーで塗りつぶし、追加は赤字での記載としております。</p> <p>以上が協議の進め方でございます。積極的なご発言をよろしくお願いいたします。</p>
座長	<p>ありがとうございます。議事の進行についてはそういった形で進めさせていただきたいと思っております。</p> <p>それでは、議事2「第4次今治市定住自立圏共生ビジョンの所要の改訂」につきまして、資料3「第4次今治市定住自立圏共生ビジョン(案)」をご覧ください。</p> <p>事務局よりご説明いたします。</p>
事務局	<p>それでは定住自立圏共生ビジョン改訂案につきまして、ご説明させていただきます。</p> <p>まず、資料の22ページをご覧ください。</p> <p>「子どもが真ん中のまちづくり」の【目的達成に向け実施する事業】の「しまなみの子どもを育む交通費支援事業(子ども世帯)」です。</p> <p>これまで、島しょ部に居住する子育て世帯に対して、妊産婦健診、乳児検診等にかかる交通費を一部助成していましたが、島しょ</p>

	<p>部での子育て世帯の経済的負担を軽減し、子育て環境の整備を図ることを目的として、令和4年4月から新規事業として、18歳以下の子どもがいる世帯を対象の交通費の1/2（上限1万円）を助成することとしたものでございます。</p> <p>なおこちらの事業につきましては、先ほどの議題の総合戦略改定案においても追加させていただいております。</p> <p>120ページをご覧ください。</p> <p>KPI、地域おこし協力隊新規配置人数の目標値の上方修正でございます。</p> <p>地域おこし協力隊新規配置人数の各年度ごとの目標値は、令和3年度7人（採用済）、令和4年度2人、令和5年度3人、令和6年度7人、令和7年度2人で、5か年で21人としておりましたが、令和4年度の採用実績が6人となり、計画から4人増であったため、目標値を上方修正するものでございます。</p> <p>共生ビジョンの改訂案につきましては、以上でございます。</p>
座長	<p>共生ビジョンの主な改訂箇所についての説明が終わりました。ここまでの内容で、ご意見・ご質問等ございましたらよろしく願います。</p> <p>（意見等なし）</p> <p>特にご意見もないようでございますので、共生ビジョンにつきましては事務局からの提案のあった現在の案で進めて参りたいと考えております。ありがとうございました。委員の皆様には、後日確定版をお送りさせていただきます。</p> <p>以上で本日の議事はすべて終了ということになるのですが、委員の皆様、本当にありがとうございました。</p> <p>続きまして、今後の予定について事務局よりご説明をいたします。</p>
事務局	<p>それではご説明いたします。今年度のビジョン懇談会につきましては今回が最後となりますが、来年度第1回目のビジョン懇談会を5月頃開催予定としております。</p> <p>委員の皆様におかれましては、引き続きご協力を賜りますよう、お願いいたします。</p> <p>以上でございます。</p>
座長	<p>そうしましたら、最後に、せっかくお集まりいただいた機会でございますので、委員の皆様から本日の協議事項以外につきましても、市政等に対しまして、何でも結構なんですけども、ご意見やご提言やあるいはご質問等がございましたら、ご発言をいただきたい</p>

	<p>と思います。</p> <p>今治市といたしましても、頂戴いたしましたご意見等を今後の検討材料にさせていただきたいと思います。ぜひ、忌憚のないご意見を頂戴できたらと思いますので、よろしく願いをいたします。</p> <p>何でも結構です。こんなことどうだろうとかいいうことがございましたら、お願いできたらと思いますので、よろしく願いいたします。</p>
C委員	<p>交通事業者の視点の立場から、今回出席させていただいております。</p> <p>資料2の中で、この戦略体系の中の（ウ）で、広域観光周遊ルートの形成ということが挙げられております。</p> <p>その中で、実は先だって14日に市役所内で地域公共交通会議というのが開催されまして、その中でも、デジタル田園都市国家構想の一環として、しまなみ版M a a Sをこれから作っていくんだというお話がございました。</p> <p>まだ具体的なお話は今全然聞いてないんですけども、一つ思いますのは、これはなかなか難しい話とは考えてご提案するんですけども、当然今治市さんがすることなので、おそらく、今治から多分大三島ぐらいは網羅したものを考えられているのかなと思うんですけども、どうしてもしまなみ海道はその先、ずっと広島県尾道市まで続いていますので、そこまでを網羅したM a a Sでないと、なかなかその首都圏や阪神圏から入ってこられるお客様には受け入れられないんじゃないかという懸念がございますので、ただ市の予算で何で尾道市のまでしないといけないのかというようなご意見もあろうかと思いますが、やはりしまなみ海道というものを体系的にPRしていくためには、例えば相手先の尾道市さんと連携するとかですね、そういった一体版のしまなみパッケージになったM a a Sでないと、中々受け入れられないのかなという気持ちがございますので、その点だけ本日ご提案させていただけたらと思います。</p> <p>以上です。</p>
座長	<p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>まさにしまなみ海道は今治だけでは当然、広島県尾道市とも連携をしていかないといけない。観光以外にも様々な分野では当然協力をしていかないといけないところでございます。</p> <p>今治市の方では合併以前から瀬戸内しまなみ海道の周辺地域振興協議会とか、あるいは今ちょっと名前変わったんですが、協議会がございまして、広島県側と色々な意見交換や協議の場もございま</p>

	<p>すので、改めてそういった場面でも提言できるように観光M a a S、あるいは地域交通の関係の部署にもご意見をお伝えさせていただきたいと思っています。</p> <p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>他ございませんでしょうか。</p>
D委員	<p>いつもお聞きしていることですが、今治の予算を獲得するためには、ふるさと納税を十二分に使うのいいのかな、あるいは今までの産業を興す上でもいいのかなというところで、何年か前に担当部署が変わって、ふるさと納税の出品物も一般に出すものと、ちょっとグレードの高いものを出して、という話を前にされていたと思うんですけど、そここのところの今の現状がどうなのかなというのを、わかれば教えていただきたいと思います。</p>
座長	<p>すいません。今おっしゃっていただいたのは個人版ふるさと納税でよろしかったでしょうか。</p> <p>実は i. i. imabari!推進課という課が担当になっているんですけども、受け入れた寄付額の3割以内を返礼品としてお返しするというので、タオルやそういったものが今治市としては多いんだろうと思いますし、県下でも結構な今治市の財源になっているということは承知しているんですが、ちょっと今の現状というかどういふふうになっているかというのが今詳細にお答えができないんですけども、担当課の方に確認いたしまして、ご連絡を差し上げるという形でもよろしいでしょうか。</p> <p>金額はわかるんですけど、個人版が令和3年度につきましては、3万8,000件で、金額は約10億6000万円というふうなことが出ているんですが、さっきご質問にありましたどういったものが主力で出ているかっていうことについては今お答えができないので、後程ご回答させていただければと思います。</p>
D委員	<p>何でもかんでも出せばいいというものじゃなくて、やっぱりある意味厳選されたもの、今治市を売るためには、広告塔にもなると思いますので、その辺の戦略を持ってやられた方がいいのかなと個人的には思いますので、そういったところの取組なんかも考えられてるんであればちょっと教えていただきたいなと思ひまして、質問させていただきました。</p>
座長	<p>ありがとうございます。</p> <p>そういった何か戦略的に今治市の活性化に繋がるものをそういうふうな形で当然考えていけないと思われまひす。</p> <p>もう一つ企業版ふるさと納税っていうのがございまして、これも</p>

	<p>今治市に本店があったら駄目なんですけど、市外企業からのご寄付であれば、ご案内のとおり全体で9割の控除を受けられるというようなこともあります。</p> <p>そういった部分も戦略的にいろんなところに働きかけをして、今治市の財源の確保に努めて参りたいと考えておりますので、よろしく願いをいたします。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>他に、何でも構いませんので、この際、今年度最後ですのでぜひご意見いただけたらと思います。金融機関の皆さんいつもオブザーバーで参加していただいております、何でも、もし、ご意見等頂戴いただければまた参考にさせていただきたいので、通常を取組であつたり、国の動向であつたり、金融機関を取組、何でも結構です。何かご意見ございましたら、お願いできたらと思います。</p> <p>構いませんか。</p> <p>日本政策金融公庫新居浜支店様、何かございましたら。</p>
<p>日本政策金融公庫</p>	<p>いつも参加させていただいております、前回の時にお話を聞きして、ご提案を市の方にさせていただいたことがあります。というのが、移住創業について取り組んでいるところでございまして、先日お話を伺った時に今治の方でも、移住創業、定住というところできり組まれて、住みたいまちランキングに上位に入られてるというふうに伺っております。</p> <p>そこで公庫も移住創業UターンとかIターンとかで来られて、実際にこちらに来られて、やはり仕事がないとなかなか定住しない、住みたいまちから住んでよかったまちになるにはどうしたらいいかというところで、例えば公庫と自治体様の方、あるいは複数機関によって、何らかの形で包括提携なり連携をさせていただいて、それを例えば私ども国の組織でございまして、あるいは地元の金融機関さんも含めて、皆さんに何らかの形でそういう連携ができないかなというようなことを、以前にちょっとご提案させていただいたことがございます。</p> <p>あと今私どもが取り組んでいますのは、教育ローン、国の教育ローンもありますので、そちらの方で教育機会均等という話と合わせたらどうと、お子さんたちに、これから将来を担うということで、ビジネスプラングランプリというようなことを高校生向けにさせていただいてございます。今年度で10回目を迎えているんですけども、そういった形で色んな取組をさせていただいておりますので、もし自治体様と何か連携ができるようなことがございましたら、ぜひ</p>

	<p>ひこちらからもご提案させていただくんですけれども、ぜひ皆様各部署様からで結構でございますので、公庫の方にもご連絡をいただければ、何らかできないかということを考えたいと思いますので、今後ともよろしくお願ひしたいと思います。</p> <p>以上でございます。</p>
<p>座長</p>	<p>ありがとうございます。まさに子育てしたい、移住したいまちで1位を獲得しました。子育て部門と、シニア部門だったんですね。</p> <p>そういったところが獲得したってそれだけでは駄目で、今後引き続いて、おっしゃるように、住み続けたいとやっぱりそういったためには、様々な就業支援だったり家庭の支援だったり、教育の支援だったり様々なものが必要だと思ひます。</p> <p>そういったところで先ほどおっしゃっていただいたようなところに何か展開できないかということで、また何かお互いが連携できることはぜひご協力をお願いできたらと思ひます。貴重なご意見、どうもありがとうございます。</p> <p>伊予銀行さん何かございましたらお願いいたします。</p>
<p>伊予銀行今治支店</p>	<p>いつも大変お世話になっております。伊予銀行今治支店でございます。</p> <p>たくさん施策がございますので、非常に盛りだくさんで、各所各所で大変皆様ご苦勞されながら取り組まれているんだろうなというふうに思っているんですけども、その中で、2点だけちょっと教えていただけたらと思ひんですが。</p> <p>一つは先ほどもお話ございましたように移住定住関係なんですけれども、先般も私どもの方でご相談をいただいた方、大阪の方から今治の方に帰ってこようかなというような方がおられて、新しく今治で事業を立ち上げようという、そんな方もおられました。従業員さんも数名ですけれども県外から呼んでこられて、移住してきていただいてちょっと事業をしようかなというような方もおられます。</p> <p>色々、そういう移住定住の方に向けての補助制度とかそういったところを、対外向けにももちろん発信もなされてらっしゃると思ひんですけれども、あるいはお問い合わせがあったらそれに適切にお答えされていると思ひんですけども、そういったところで、例えば金融機関も含めて協力できる場所があればさせていただきたいと思ひますし、今現状どういった発信のされ方をされているのかなというのが、わかる範囲でお教へいただければというのが一つと、もう一つは今盛んに、デジタル田園都市国家構想の中の具体的事例の中に</p>

	<p>も入れられているんですけども、今治市さんでも取組されているというふうに施策の中で確かあの入れられていたと思いますけども、脱炭素というかカーボンニュートラル関係ですけれども、非常に金融機関も脱炭素、カーボンニュートラルに向けての取組というのも、バックアップしていかないといけないという思いが非常に強くあります。</p> <p>今治市さんとしては今、現状の取組で色々、太陽光を使ってというような施策も確かおありだと思っておりますけどその辺の進み具合といましようか、今後の方向というか、そのあたりをお教えいただける範囲で結構なんですけれども、ご教示いただけたらと思います。</p>
<p>座長</p>	<p>貴重なご提案ありがとうございます。</p> <p>まず1点目移住定住の関係なんですけれども、地域振興課の方からどういった広報しているかとか、金融機関等と組めるところがあるかとか、そういったところがございましたらご説明、ご議論いただけたらと思います。</p>
<p>地域振興課 鳥生課長補佐</p>	<p>失礼いたします。</p> <p>地域振興課の鳥生と申します。いつもお世話になっております。</p> <p>先ほど伊予銀行様、公庫様の方からもございました、お仕事を移住されてきた方がどのようなお仕事に就いて、どのような生活をこれからされていくのかっていうところの支援につきましては、既に当市の産業振興課の方に創業支援のネットワークとして、広域で上島町と今治市の圏域で創業支援ネットワークっていうものを作っておりますので、その中に、公庫様、もちろん伊予銀行様含め地銀さんであるとか、地場産業振興センターの創業支援の室であるアイビックさんとかもございまして、そういうお問い合わせがあれば、産業振興課とかを通じてそういった関係機関・団体さんにご相談を今している状況でございます。</p> <p>そういった既存のネットワークを使いながら、ご支援をしていただいているところでございます。</p> <p>また、住む所とかにつきましては、空き家バンクに登録している物件のご紹介であるとか、そこをリフォームして住みたいっていう方につきましてはそういった補助金なんかもご用意しておりますので、そういった中で、ご支援をさせていただいている状況ということでございます。</p> <p>また、公庫さんの方からあります新たな移住者の方を巻き込んだ連携のネットワークとかにつきましては、また今後我々の方でもご</p>

	<p>検討させていただけたらと思いますので、引き続きよろしくお願いいたします。ありがとうございます。</p>
座長	<p>そうしましたら次に、2点目にお尋ねになりました脱炭素、それからカーボンニュートラルの市の状況につきまして、今日環境部門の担当が来ておりませんので、私どもでわかる範囲で恐縮ですが、少しお答えをさせていただきます。</p>
産業振興課 月原課長補佐	<p>失礼します。産業振興課の月原です。お世話になります。 産業振興課の方で、脱炭素に取り組む中小企業の方に対して、設備投資の補助金を用意しております。ちょうど今まさに11月14日から12月20日まで、補助金の募集をしております。補助率が3分の2で上限200万円。相談窓口が、それぞれ今治商工会議所さん、しまなみ商工会さん、越智商工会さんの方で受付をしております。12月20日締め切りで、1月に専門機関の委員さんに審査をしていただいて、1月末に交付決定ということで考えております。予算規模が7,000万円なので、大体35社、上限でいくと35社をめぐりに、採択をさせていただきたいというふうに考えております。 以上です。</p>
座長	<p>すみません。今治市全体の話ではなくて、産業振興に関する部分での企業へのカーボンニュートラルとか脱炭素への取組支援ということでご説明させていただいたので、ご了解いただけたらと思います。 貴重なご意見ありがとうございます。</p>
伊予銀行今治支店	<p>引き続き金融機関として、今治市さんともぜひ連携させていただきたいと思っておりますので、またよろしくお願いいたします。</p>
座長	<p>貴重なご提言ありがとうございました。 他にご意見とかございませんでしょうか。せっかくの機会ですので、何かございましたら。 よろしいですかね。それでは、ご意見もいただいたようでございますので、最後にちょっと観光課の越智課長補佐の方から少し皆さんにご案内させていただきたい案件がございますので、よろしくお願いいたします。</p>
観光課 越智課長補佐	<p>失礼します。観光課の越智と申します。 今日はお時間取っていただいてありがとうございます。 チラシを皆様の机の方に配布させていただいてるんですけども、せとうちみなとマルシェのチラシです。 この日曜日、11月13日に1回目が開催されたのと、先月10月の</p>

	<p>15、16日と、今治港開港100周年の際にプレイベントという形でマルシェを開催させていただいたので、皆さん、ご参加とか会場を訪れていただいた方もたくさんいらっしゃるかなと思いますけれども、ちょっとこの場をお借りしてまた改めてPRというか宣伝の方をさせていただけたらと思います。</p> <p>今、皆さんご存知のように、今治港は開港100周年を迎えまして、かつて瀬戸内の交通の要所として、海上交通の拠点として賑わっていた今治港なんですけれども、今回また改めて100周年、また次の100周年へとつなげていくために、経済、観光、そして人と人との交流の拠点として、今治港を再生していくというような目的を持ってこのみなとマルシェという事業を実施することとなりました。</p> <p>訪れていただいた方もわかるかなと思うんですけれども、約500メートルの海のコンコースにですね、水産、農業、パン、雑貨、タオルなどなど、瀬戸内の名店が一堂に集っております、色々100以上のテントが並んで、マルシェの会場規模としては日本一のマルシェとなるような形となっております。</p> <p>今年度なんですけれども、次回がまた11月27日の日曜日に開催予定となっております、毎月第2第4日曜日の朝は9時からお昼越えて2時ぐらいまでの開催予定ということでさせていただいております。</p> <p>この中にもすでに漁協さんとかご支援いただいている関係企業の方とか事業所の方とかもたくさんいらっしゃるかなと思いますけれども、また今後ともご支援いただいて、会場の方にもたくさん訪れていただいて、今治港でその周辺の活性化、人と人の交流の拠点として今治港を皆さんとともに活性化していただけたら大変ありがたいです。</p> <p>どうぞよろしく願いいたします。ありがとうございました。</p>
E委員	<p>港湾の関係なんですけど、先日国際ホテルで会議がありまして、国際ホテルに入っていったら、大型バス、観光バスが10台ぐらい来まして、これはすごいなと、でおじいさんおばあさんが出てきた。</p> <p>あれ何って聞いたら、飛鳥が着いたんですね。新居浜港に着いたんですかね。よくわかりませんが、着いて、大型バスで乗り込んで来てものすごいなという感じだったんですが、ああいうふうなのが今治に直接着くということは、深さによって、もう全然船が着く可能性がなかなかないのかなとも思うんですが、そういうふうなものが接岸できるようなこと、昔はほわいとさんぼうもありましたけ</p>

	ども、それではまだ足りないのかもわかりませんが、ああいうものが接岸できるようなことも考えているみたいなどころはないんですかね。あるとすごいなと思いましたけども、一昨日のことでちょっとそう感じました。
座長	技術的なことで細見課長補佐、先ほど大型フェリーが今治港の方にとというようなこと、前の担当になるんですがもし何か技術的なことでわかればお願いします。
道路課 細見課長補佐	道路課の細見と申します。よろしく申し上げます。 港湾についてのクルーズ船とかそういった関係だと思えるんですけども、確か飛鳥は今治港の蔵敷岸壁の方に過去に着いたことが確かあったと。それとか富田岸壁、そちらの方に飛鳥Ⅱだったかな。
E委員	あれぐらいの船だったら、蔵敷埠頭と富田岸壁に着けられるのか。
道路課 細見課長補佐	過去に確か、自分の記憶で申し訳ないんですけど、確か着いたことがあるんじゃないかと思います。
E委員	あれぐらいのだったら着くんだね。この港湾のところには、浅過ぎて入らないんですね。ほわいとさんぽうが前に着いていたところも無理なんですね。もっと掘らないといけない。そんなのを今後どうこういう計画というのはいもう全く今のところはないと。 観光で売り出すということではあるんだけど、ああいうふうなものが来るとか、あるいは、例えばロシアの、今問題ですけど富豪がクルーザーで乗り付けたとかいう話も聞きますが、そういうふうなものが来るとようなことなんかも今のところはない。
道路課 細見課長補佐	今のところは今治港の、前にほわいとさんぽうとかが着いていたところについては、そういった大型船ですね、そういったものを着けるという予定は今のところは無いかと思います。
E委員	直接乗り込めるならいいなと思っただけなんですけど、この前はそこへ着いていたんですかね。新居浜に着いたのかなと思っただけなんですけど、大型で来ましたから。
道路課 細見課長補佐	ちょっとすいません。
E委員	わかりました。着けられるんですね、あれぐらいだったら。
座長	ありがとうございます。富田の埠頭とかには確かに、着いたところからバスとかでそれぞれいろんなところに観光周遊コースみたいなものがございましたので、ただ、先ほど説明していましたが、前に大型船のほわいとさんぽうが着いていたところへの着岸は非常に難しいというふうな話を聞いております。そういったご意見も寄せら

れているのは確かだと思いますので、引き続きまた検討するようなことになろうかと思います。

ありがとうございました。

ということでたくさんご意見を賜りまして誠にありがとうございました。委員の皆さまにおかれましては本当に大変お忙しい中、今年度3回に渡りました会の運営にご協力を賜りまして誠にありがとうございました。厚く御礼申し上げます。

これをもちまして、令和4年度第3回「今治市ふるさと共創・共生ビジョン懇談会」を閉会させていただきます。

皆様、本日はどうもありがとうございました。